

1 新技術・新製品開発の支援

令和6年度産学共同研究開発助成事業の成果報告

当センターが「令和6年度産学共同研究開発助成事業」で助成を行った4社の成果を報告いたします。

【メディカル調剤株式会社】

研究開発テーマ名	高齢化社会に対応する嚥下機能亢進効果を有するフレイルケア食品の開発
実施期間	2024年9月 ～ 2025年8月
企業名	メディカル調剤株式会社
共同研究機関	高知大学 次世代地域創造センター
研究開発概要	<p>高齢化社会の到来により、嚥下機能低下をきたす高齢者が急増している。本研究は、これまでの高知大学の研究成果を基にして、嚥下機能を亢進する機能性を有する高知県産のショウガを含有した食品を開発し、嚥下機能の維持、または嚥下障害を予防し、食欲増進をも視野に入れ、生活の質（QOL）の向上を図ろうとするもので、既存の、食品の流動性改善を主目的とした嚥下補助品には無い独創的な工夫がなされている。</p>
研究開発成果	<p>1.フレイルケア食品の開発</p> <p>高知県産ショウガ成分の嚥下機能改善機能・唾液分泌促進機能及び柑橘由来ヘスペリジンの食欲増進機能を利用し、配合ゼリー製剤等（イメージ下図参照）、フレイルケア食の製剤開発について検討を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(図1) ゼリー食</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(図2) 海苔佃煮</p> </div> </div> <p>2.市場調査</p> <p>平成23年の摂食嚥下障害に関わる調査研究事業による調査において、介護老健施設系における嚥下困難者は、約60パーセントと高値を占める傾向があり、このことが、誤嚥性肺炎による死亡率の増大につながっていた。今回、さらに、高知県下の高齢者介護施設の長、職員等に聞き取り調査を行った結果、入居者すべてが、何らかの嚥下機能の低下を来している現状が認められ、嚥下機能改善品のニーズは高いものと推察できた。高知県の様な地方の高齢化の進展に伴い、益々、その必要性は増大していくと推察することができた。</p> <p>3.臨床研究体制の構築</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅を実施場所とし、入居者を対象とした臨床試験を行う為の、医療機関倫理委員会提出資料、対象者への同意説明書の作成を行い、申請予定である。</p>